

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する年度評価シート

施設概要				
施設名	山形市菅沢デイサービスセンター			
指定管理者（選定方法）	社会福祉法人 山形市社会福祉事業団（選定方法：非公募）			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日			
利用料金制導入の有無	有			
施設所管課	福祉推進部長寿支援課			
評価				
評価の区分	S	協定書、仕様書どおりに実施され、計画や目標を上回る実績（効果）があった場合		
	A	協定書、仕様書どおりに実施され、概ね計画や目標どおりの実績（効果）があった場合		
	B	協定書、仕様書どおりに実施されたが、計画や目標を下回る実績となるなど（効果が少ない場合を含む）、改善を要する必要がある場合		
	C	協定書、仕様書どおり実施されなかった場合		
	－	評価項目が該当しない		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価	
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A	
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	S	
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A	
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A	
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いは適切に行われたか	A	
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A	
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A	
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A	
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A	
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A	
利用の状況	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A	
	開館日数	開館（日数）は適切に行われたか	A	
	開館時間	開館（時間）は適切に行われたか	A	
	利用人数	利用人数は目標を達成したか	B	
事業の状況実施	平均稼働率	平均稼働率は目標を達成したか	B	
	実施回数	実施回数は目標を達成したか	B	
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	B	
の満足度調査	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A	
	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A	
維持管理の状況	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A	
	清掃（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A	
	清掃（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A	
	保守点検（日常）	業務は計画どおり適切に行われたか	A	
	保守点検（定期）	業務は計画どおり適切に行われたか	A	
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A	
収支の状況	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A	
	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B	
	利用料金の收受	利用料金の收受は規定の料金を適正に收受するなど適切に行われたか	A	
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A	
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A	
総括評価				
(管理運営の状況について) 管理運営業務の仕様書において介護職員の配置を求めており、その全員が介護福祉士の有資格者であったため、利用者への専門的なケアの実施に繋がっている。利用者満足度調査の職員対応状況やサービス全般の項目においても評価が高い。				
(利用の状況について) 介護職員の不足により利用者の安全を確保することが難しいことから、認知症対応型通所介護等の事業を休止していたが、当該事業の利用者は通常型通所介護事業等で受け入れを行うなど、継続したサービスの提供ができるよう対応していた。認知症対応型通所介護等の事業は令和6年度をもって廃止したが、今後も施設の在り方を含めた総合的な検討を行っていく必要がある。				
(事業実施の状況について) 季節に応じた事業の実施や利用者が計画の段階から加わっての企画の立案など、利用者ニーズを積極的に事業に反映しており、評価している。				
(収支の状況について) 利用料金収入を増やすため、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携やパンフレット、ホームページ等での広報活動を行っているが、更なる事業の活性化のため、他の指定管理施設との連携を図るなどしてもらいたい。				